

# 10月園内研修

令和6年10月18日(金)

## 【研修テーマ】

- ・南城市研究大会の振り返り
- ・今年度取り組みそうな企画案

## 【研修内容】

- ・9月7日に受けた「南城市研究大会」の振り返りをみんなで共有する
- ・今後やってみたい保育（活動）をグループワークする

## 【感想】

・子どもの探求心を大事にしながら、子どもたちの考えていることをやりたいようにやらせてあげたい。答えをすぐに与えず、「なんでかな?」「なんでだと思う?」と一緒に考えながら、色々な経験をしたいなと思った。

・「なんでだろう?」「挑戦する気持」「子どもに考ささせる」「好奇心」「子どもの目線で」「子どもの声を聞きのがさない」「知識ある大人が答えを出すとそこで探求心が終わる」

※感性と気づき、ワクワクから始まる主体的行為として探求、AIにはできないこと!!

振り返りの場に参加させて頂きありがとうございました。

・子どもの探求の必要性を改めて学んだ。探求を深めるには大人が環境を整えたり、声かけをすることも大切だと思った。また、環境の構成では物や自然だけではなく、人も環境の一部だと学んだ。

・各クラスの探求心エピソードをきいて、探究心の視点は様々で周囲(人や物)の刺激での反応、自分達が育てた植物への気持ちなどなど…保育の現場には子どもの探究心がたくさんあることに気づかされた。

探究心をひろいながら街にいかしていけたらいい。

・子どもの探求について振り返り、各年齢のエピソードが聞けて良かったです。探求心から色々な方向へ広がっていくとおもしろいなと思いました。

- ・一人のこどもの主体性、何を感じ心が動き気づき、どのように関わり関係性がうまれていく力を問うプロセス。こどもの思いや願いをかなえるだけでなく、さらに高めたり、深めたりして一人ひとりの子どもの輝きを保証していくようにする。探究する遊びを保育士が共感する。
  - ・子どもたちは常に周りを見て、楽しい事さがしをしている。人的環境が探究心を育てるポイントなのかと感じた。
  - ・子どもたちの行動を一步引いて見たり、ギモンに、思った事を一緒に考える保育を心がける。
  - ・園児がビリボに座わりビリボにロープをくくり付け、「園庭の山の上から友達が引っぱる」「山のとっぺんまで引き上げようとするが、上げれないからあきらめる」そういった遊びをあぶない！！と止めるのではなく、これから先どういった遊びにつながるんだろう？という興味をもちながら見守っていきたい。
  - ・子ども達の心を動かす探究心を日頃の保育で見つけて、遊びが発展できるよう、とめるのではなく見守って環境づくりをしていきたい。
  - ・全体で研修について振り返って改めて「探究」について考えることができた。探究を意識して活動を考えたりすることで大人目線ではなく子ども目線で考え、そこから子ども達とも一緒に考えていくのが大事だと学んだ。
- 南城市研究大会の時には難しかったが、振り返ることで詳しく知ることができて良かった。

## 2.今年度、取り組みそうな企画案

- ・散歩
- ・ルール遊び
- ・ツリーハウス
- ・秘密基地
- ・テラスを活用
- ・土いじり
- ・畑づくり
- ・縄を結ぶ遊び(消防士ごっこ・ブランコ・電車ごっこ)
- ・枝をたくさん集めてツリーを作る。季節の物を飾る。
- ・園庭の飾り棚(泥遊び、砂で作ったもの、草花で作った弁当等を作って飾る場所を作り、次の日の楽しみにする)
- ・小動物との触れ合い(園庭で)

## 令和6年度 10月園内研修



©令和6年9月7日の研修「南城市研究大会」の振り返り©今年度、取り組みそうな企画案（グループワーク）【令和6年度10月18日(金) 18:30~20:30】